

敬老のつどい



【西中島学区】

■世帯数：2,911 世帯

■人 □：7,053 人

■面積：0.747k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・西中島小学校の体育館において、「敬老のつどい」を開催。平成 19 年から 5 年間の延べ参加者数は約 1,250 人。
- ・防災や介護予防など日常生活に役立つ内容の講演民謡や踊りなどのアトラクションのほか、趣味の作品展も同時開催する。

〈講演テーマ〉

平成 19 年度「高齢者の健康について」

平成 20 年度「振込詐欺・悪徳商法による被害防止」

平成 21 年度「元気なうちから介護予防」

平成 22 年度「地域包括支援センターを活用しよう」

平成 23 年度「地震・風水害などの災害への対応」

【住民への PR 方法】

チラシの回覧

【アピールポイント】

趣味の作品展を同時開催することにより、高齢者のみなさんの日常の楽しみの目標となっている。

2 きっかけ、背景

高齢者の社会参加、生きがいづくりの場として敬老のつどいを開催している。住民の要望を反映して、健康づくりや犯罪被害の防止といったテーマで講演を行っているほか、民謡や踊りといったアトラクション、趣味の作品展も行っている。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ 計約 55 人

(2) 他団体との協力

企業から物品の提供を受けている。

(3) 運営協力

活動は、主に民生委員児童委員、区政協力委員が担っている。

4 実施のスケジュール

3月 講演テーマの選定、講師の依頼



4月 アトラクションの決定、手配



6月 趣味の作品展のお知らせチラシを回覧



7月 敬老のつどい開催のお知らせチラシの回覧



9月 敬老のつどいを開催

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・地域の行事として定着し、参加者が増加しているほか、住民意識の高まりや住民間の交流の深まりにもつながっている。
- ・各運営メンバーとの協力体制が確立できた。

(2) 苦労した点

- ・参加者の確保に苦労しており、遠方の高齢者はマイクロバスで送迎するなど参加しやすいよう配慮している。

(3) 今後の課題・展望

- ・活動を継続して行く中で、住民の意識に合ったテーマの選定が今後の課題である。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・皆が楽しめるアトラクションの催しとして「民謡」、「音楽」、「歌謡」、「抽選会」などがある。

